

実践アジア社長塾オンライン講座

第4回特別公開講義

「戦略的外国人材活用とこれからの人事政策」

2020年9月19日（土） 14：00～16：00（日本時間）

<講師>

鮫島 重喜（SAMESHIMA Shigeki）
アジアビジネス連携協議会 理事

1987年、龍谷大学大学院文学研究科修了。1988年から台湾の大学などで日本語教育に従事。帰国後、九州大学や久留米大学などで日本語教育に携わる。2001年から久留米ゼミナール日本語学科の留学生募集をアジア各国で行う。2017年からは福祉系専門学校で留学生の介護人材育成に携わる。安徽外国語学院客員教授。学生指導や外国人材活用につき、福岡県内外の専門学校や企業で顧問。

<講師>

藤村 英明（FUJIMURA Hideaki）
弁護士

2007年、名古屋大学法学部法律政治学科を卒業。2012年4月から厚生労働省の労働基準監督官として勤務。岐阜労働局大垣労働基準監督署監督課、岐阜労働基準監督署第三方面、東京労働局三田労働基準監督署労災課での業務を経験する。2016年12月から福岡市内の弁護士事務所に勤務後、古野法律事務所（北九州市）で勤務。外国人材に関連する労務問題などを数多く扱っている。

<講義概要>

外国人材を採用する場合、「技術・人文知識・国際業務」「特定技能」「技能実習生」「介護」など、在留資格は様々であり、在留資格により企業側の対応も異なる。本講義では、新型コロナウイルスの影響も踏まえ、外国人材の採用方法を実務と法務の両面から解説する。

また、人手不足に加え、終身雇用などの日本的雇用慣行は変わりつつあったが、そこに新型コロナウイルスが広がり、働き方は否応なしに変化を強いられた。昨今は、働く側も雇う側も影響を受けている。このような現状認識に立ち、これからの人事政策を広く展望し、その一環としての戦略的な外国人材活用を考える。

受講料：無料

受講方法：Zoom

申込：QRコード、またはURLから

<http://abc-online.zohosites.com/blogs/post/4>



【主催】一般社団法人アジアビジネス連携協議会

【後援】日本電気株式会社（NEC）／ジェトロ福岡／株式会社アジアソリューション／至誠館大学
公益財団法人地方経済総合研究所／日本ITビジネスカレッジ／Whenever大連